

人を対象とする医学系研究に関する情報公開文書

この研究の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。

なお、この研究の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の診療情報（カルテの情報）をこの研究に使ってほしくないと思われた場合にも、下欄の問い合わせ担当者までその旨をご連絡下さい。

試料・情報の利用 目的及び利用方 法	<p>●研究の名称 院内がん登録を活用した胸膜プラークを持つ肺がん患者の実態調査</p> <p>●研究の対象 2016年1月～2016年12月の間に肺がんの診断を受けた肺がん患者</p> <p>●研究の目的 石綿の暴露が悪性中皮腫の発症に関与していることは一般的に知られていますが、肺がんのリスクも上昇することはあまり知られていません。全国の肺がん推計罹患患者数は増加傾向にあることに加え、石綿の暴露によって肺がんのリスクが上昇し、さらに喫煙者にあってはそのリスクは52倍にも上ることを考慮した場合、石綿による肺がんとして救済対象となる者のうち制度を利用していない肺がん患者が相当数いると想定されますが、日本における石綿による肺がん患者の推計を行った調査は見当たりません。</p> <p>そこで本調査では院内がん登録情報から無作為に肺がん患者を抽出し、当該肺がん患者の診断時胸部CT情報から、救済制度の認定基準の胸膜プラークの有無を判定することで、調査対象肺がん患者における石綿による肺がん患者の割合を推計します。また、施設特性や地域ごとに石綿による肺がん患者の分布の特徴を把握します。この調査結果は、救済制度の周知方法を検討するときの情報の一つとして環境省石綿健康被害対策室に報告します。</p> <p>●研究の期間 倫理委員会承認日から2019年6月まで</p> <p>●他の機関に提供する場合には、その方法 調査事務局から指定された患者の診断時胸部CT画像を定められた手順に従って複写します。複写された画像は匿名</p>
--------------------------	---

人を対象とする医学系研究に関する情報公開文書

	化・暗号化して指定の CD-R または、安全性が確立されたオンラインのいずれかの方法で調査事務局に送付します。
利用し、又は提供する試料・情報の項目	●研究に使用する試料・情報 院内がん登録情報、胸部 CT 画像
利用する者の範囲	●共同研究機関の名称及び研究責任者 国立研究開発法人 国立がん研究センター がん対策情報センター がん登録センター センター長 東尚弘
試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称	●研究責任者 国立研究開発法人 国立がん研究センター がん対策情報センター がん登録センター センター長 東尚弘 浜松医科大学臨床腫瘍学講座 山田康秀
試料・情報の利用又は他の研究機関への提供の停止（受付方法含む）	あなたの情報を研究に使用することや、あなたの情報を他の研究機関に提供することを望まない場合には、問い合わせ先まで連絡をいただければ、いつでも使用や提供を停止することができます。連絡方法は、問い合わせ先に記載のある電話もしくはメールでお願いします。
資料の入手または閲覧	この臨床研究の計画や方法については、あなたのご希望に応じて資料の要求または閲覧ができます。あなたがご自分の研究結果を知りたいと希望される場合は、研究担当者にその旨をお伝えいただければ、他の研究対象者に不利益が及ばない範囲内で、あなた自身にあなたの結果をお伝えします。希望された資料が他の研究対象者の個人情報の場合には、資料の提供または閲覧はできません。
情報の開示	あなたご自身が研究の概要や結果などの情報の開示を希望される場合は、他の参加者に不利益が及ばない範囲内で、原則的に結果を開示いたします。しかし、情報の開示を希望されない場合は、開示いたしません。 また、本研究の参加者以外の方が情報の開示を希望する場合は、原則的に結果を開示致しません。
問い合わせ先	〒431-3192 浜松市東区半田山一丁目 20 番 1 号 浜松医科大学医学部附属病院医事課診療情報管理係 担当者：金子 龍一郎 TEL：053-435-2546 FAX：053-435-2153 E-mail：r-kaneko@hama-med.ac.jp